

環境大臣 望月義夫様

申し入れ書

本日、平成26年10月28日、小里環境副大臣から現地詳細調査につきましてご連絡をいただきました。その際にお伝えさせていただきましたように、未だ町からの質問に対する十分な回答がなく、住民の理解を得られていない現状を踏まえ、正式に、宮城県放射性指定廃棄物最終処分場候補地となっている加美町田代岳国有林の現地詳細調査の即時中止を申し入れさせていただきます。

併せまして、後日再度町から質問を提出させていただきますことを申し入れさせていただきますので、誠意ある回答をお願い申し上げます。

詳細調査の実施に関しましては、井上前環境副大臣は「基本的には自治体の意向、住民の理解を得ずに、国が強制的に調査することは考えていない」と話されており、また10月8日開会の参議院予算委員会において渡辺美知太郎議員の質問に対し、望月環境大臣は「詳細調査の実施にあたっては、地元の方々の理解を得られるよう、その候補地の選定過程や処理施設の必要性、安全性について丁寧に説明を行う努力が必要と考える。今後、こうした努力をせず詳細調査を行うつもりもなく、これまでの姿勢と変わらず地元の方々の理解をいただく努力をしてまいります。」と答弁されておりますことから、一方的かつ強引な現地詳細調査はあってはならないことであることを申し添えます。

平成26年10月28日

宮城県加美町長 猪股洋文